

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	情報技術と職業__入門（Information Technology at Work Place - intro）		
ナンバリングコード	P11601	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 基礎レベル キャリア開発
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	P160151	クラス名	-
担当教員名	松永 多苗子、赤星 哲也、濱田 大助、星芝 貴行、高 文局、坂井 美穂、足立 元、吉森 聖		
履修上の注意、 履修条件	課題に対する取り組み等を重視します。出席を欠かさないで下さい。 全員、履修してください。（学科推奨科目）。履修制限：当該学年次のみ履修可、再履修：不可 授業時はもちろん、各自の主体的な学内外での取り組みも重要になります。 他は備考欄を参照ください。		
教科書	必要に応じて教員が資料を作成し配布します。		
参考文献及び指定図書	必要に応じて教員が指示します。		
関連科目	各種専門科目、社会参画系授業、情報技術と職業入門（演習、実践）		

○基本情報		
授業の目的	4年間で取り組んでいるキャリア教育プログラムの1年目のステップです。「大学の歩き方」をキャリアと位置づけ、特に「情報メディア学科」での学び方を身につけることを主テーマとします。大学卒業後の進路を目標と設定し、その進路を実現するために、在学中における様々な取り組みを行います。	
授業の概要	授業の中で、様々な講演やワークから、将来の方向性を考えます。まず、本学科の各コースの目的や科目内容についての理解を深め、適切なコースの選定が行える土台を形成します。また、「実物体験」を通して、卒業までに取り組む内容をより身近に捉え、自身の将来へのステップを考えます。さらに「VRT」「一般常識模試」「GATB」に取り組み、自身の適性や基礎学力能力を捉え、結果から、今後の活動計画を立てます。 「実物体験」：卒発表会や研究室紹介等の学科内で実施されるイベントや、インターンシップ・資格試験等に対する先輩からの体験談を聞き、質問する機会を通しての学習。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	カテゴリー II：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	将来に向けた道を見つつ、基礎能力、主体的活動能力を習得します。	5点	12点	8点
【知識・理解】	実践的な就職活動に向けた、予備知識を習得します。	5点	12点	8点
【技能・表現・コミュニケーション】	各種諸先輩方の発表を聞き、それらに対する質問から、自身で考え、展開し、質問する能力を身につけます。	5点	12点	8点
【思考・判断・創造】	将来の方向性について絞れるだけの知識を身につけます。	5点	12点	8点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
レポートの提出、レポートの記載内容 課題やワークへの取り組み フィードバック方法 ・課題：LMSにてコメントバックと評価、次回授業で講評と解説 ・試験：すべての試験結果は翌週以降に返却する

○その他
出席管理の方法については、第1回授業時に説明します。所定の方法で出席登録をしない場合、欠席と記録します。 授業プログラムは、シラバスに沿って実施しますが、受講生の進捗状況や、社会情勢を考慮しながら、再調整することがあります。 スケジュール管理、タスク管理も非常に重要です。授業での課題、演習を通して修得しなさい。 課された課題への取り組みが非常に重要です。さらに各自でさらなる技能修得や知識の応用など、自主的な取り組みが非常に重要です。 授業中の無断退席や、授業中の姿勢、授業への取り組みも評価対象です。（授業への取り組みが無いと判断できる場合、事前告知なしに早退や欠席と判断する場合があります。） 課題への取り組みと提出は、特に指定がない限り、各個人での取り組みと提出になります。 他人の提出物を複製した提出物は評価対象外です。 著作権を含む法令違反のある提出物は、評価対象外とします。 後に明らかになった場合、全ての評価結果を見直す場合があります。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名	情報技術と職業 入門 (Information Technology at Work Place)	授業コード	P160151
		担当教員	松永 多苗子、赤星 哲也、濱田 大助、星芝 貴行、高 文局、坂井 美穂、足立 元、		
学修内容					
1. ガイダンス					
本授業での取り組みについて説明を行います。					
予習	本学で成し遂げたいコト、将来の進路について考えてきてください。				約2時間
復習	配布資料や課題への取り組み。今後の計画について考えてくること。				約2時間
2. 解説・ワーク・一般常識模試					
自分の学力をしっかりと捉えるため、事前解説・ワークと、一般常識模試に取り組みます。					
予習	基礎学力(高校2年まで)で弱い部分について取り組んでおいてください。模試の受験料を支払っておきな				約2時間
復習	取り組んだ結果から、自己採点し、間違えた部分を各自で問題を解いておいてください。				約2時間
3. VRTテストと目標					
職業に対する興味の度合いをVRTテストを通して把握します。また、将来の方向性の目標について、本日より取り組み始めます。					
予習	今後の具体的な進路について考えてきてください。				約2時間
復習	目標について少しずつ具体化していきましょう。				約2時間
4. コース紹介(1)					
教員および先輩からコースの目的や科目内容について、それぞれの目線での話を伺い、コースについての理解を深めます。					
予習	コースの内容について、学科Webサイト等を参考にして、現時点での自分なりのイメージをまとめておきます。				約2時間
復習	コースについての説明を聞いた上で、自分が理解した内容をまとめます。				約2時間
5. コース紹介(2)					
教員および先輩からコースの目的や科目内容について、それぞれの目線での話を伺い、コースについての理解を深めます。					
予習	コースの内容について、学科Webサイト等を参考にして、現時点での自分なりのイメージをまとめておきます。				約2時間
復習	コースについての説明を聞いた上で、自分が理解した内容をまとめます。				約2時間
6. コース紹介(3)					
教員および先輩からコースの目的や科目内容について、それぞれの目線での話を伺い、コースについての理解を深めます。					
予習	コースの内容について、学科Webサイト等を参考にして、現時点での自分なりのイメージをまとめておきます。				約2時間
復習	コースについての説明を聞いた上で、自分が理解した内容をまとめます。				約2時間
7. GATB(一般職業適性検査)					
各個人の職業適性の検査に取り組みます。取り組み結果から、能力特性として各個人に適合した職業について考えます。					
予習	将来の進路について考えてきてください。				約2時間
復習	検査への取り組みから、もう一度、進路の方向性について見つめ直してみましょう。				約2時間
8. 先輩たちの取り組み					
業界で活躍している卒業生が、在学時に取り組んでいたことを紹介します。この中で、自分の目標に近い先輩の取り組みから、自分の取り組む道や具体的な取り組みを学習します。また、在校生から、本学科で学んでいく上で体験したことを語ってもらいます。					
予習	今後の具体的な進路について、再度考えてきておいてください				約2時間
復習	具体的な先輩の事例から、各自での方向性を具体化し、取り組み始めます。				約2時間

○授業計画	科目名	情報技術と職業入門 (Information Technology at Work Place)	授業コード	P160151
	担当教員	松永 多苗子、赤星 哲也、濱田 大助、星芝 貴行、高 文局、坂井 美穂、足立 元、		
学修内容				
9. VRT/ 一般常識ワーク				
以前、行った、VRTテストと一般常識模試の結果が返ってきているので、返却し、結果から自分の能力の把握と今後の取り組み計画のワークに取り組みます。				
予習	今期の取り組みについて振り返り、進捗状況を整理しておいてください。			約2時間
復習	各種結果から、目標やスケジュールの見直しを行い、実際の取り組みを開始してください。			約2時間
10. 実物体験:卒業研究発表会				
卒業研究発表会に参加し、どのようなテーマの研究が行われ、どのように取り組んでいるかを理解します。				
予習	卒研発表会のプログラムから、興味のあるテーマを見つけておきましょう。			約2時間
復習	聴講した内容に関して、レポートを作成します。			約2時間
11. インターンシップ体験談				
本年度のインターンシップに参加した先輩が、その体験を全学生に向けて発表します。学生は、話からインターンシップに向けて取り組むことやその経験から得られることを理解します。また諸先輩方からお話を聞いたり、質問することから、コミュニケーション能力の習得にも取り組みます。				
予習	描いている将来像に到達するために必要な取り組みについて整理しておいてください。			約2時間
復習	諸先輩方からのお話や質問から、各自が取り組むことの再調整と具体的な取り組みを行ってください。			約2時間
12. 資格試験対策				
学科および各コース推奨資格の取得に向け、資格の解説から資格取得に向けた勉強方法について学習します。				
予習	情報メディア関係でどのような資格があるか 調査しておきましょう。			約2時間
復習	資格取得に向け、具体的な勉強に取り組んでください。			約2時間
13. 実物体験:研究室訪問				
研究室訪問を行い、各研究室の活動について理解を深めます。				
予習	研究室紹介の日程を確認し、訪問スケジュールを立てておきます。			約2時間
復習	訪問レポートを作成します。			約2時間
14. GATB(一般職業適性検査)ワーク				
1年次に取り組んだGATBの結果から、職業に対する適性を確認します。これら結果から、各自の将来の方向性について見つめ直します。				
予習	将来の方向性について考えておいてください。			約2時間
復習	検査結果から、再度、将来の方向性について見つめ直してみましょう。			約2時間
15. ガイダンス、学習計画				
1年の締めくくりとして、ガイダンスに取り組みます。これまでの活動を通して自身の能力を捉えなおし、改善するべき所を明らかにし、学習計画を立てます。				
予習	今期の取り組みについて、振り返っておいてください。			約2時間
復習	授業で作成した今後の学習計画に取り組み始めます。			約2時間
16.				
予習				
復習				